2019年度
第2四半期決算および通期業績見通し
説明資料

星光PMC株式会社（東証1部 4963）
2019年8月27日

目次

✧ Ⅰ.事業内容、当期の事業環境　P 2～3

✧ Ⅱ.2019年度 第2四半期決算（連結）　P 4～7

✧ Ⅲ.2019年度 通期業績見通し（連結）　P 8～9

✧ Ⅳ.事業別動向　P 10～12

✧ Ⅴ.中期経営計画「New Stage 2021」　P 13～14

✧ Ⅵ.各取り組みのご紹介　P 15～17

＜予想に関する注意事項＞

・本資料では情報の提供を目的としており、勧誘行為を行うものではございません。
・業績見通しは現時点で入手可能な情報に基づき、当社の経営者が判断した見通しでございますが、実際の売上高および利益は、記載している予想数値とは異なる場合がありますことをご承知おき下さい。
・当社は業績見通しの正確性・完全性に関する責任を負うものではございません。ご利用に際しては、ご自身の判断にてお願いいたします。
・本資料に全面的に依存して投資判断を下すことによって生じ得るいかなる損失に関しても、当社は責任を負うものではございません。

Ⅰ.事業内容

CNF上市及び新綜工業連結子会社化により、以下の事業区分と致します

➢ 製紙用薬品事業

サイズ剤
紙力増強剤
家庭紙用薬品
製紙用補助薬品

<主な用途>
紙　　新聞用紙、印刷・情報用紙
　　家庭紙 他
板紙　段ボール原紙
　　紙器用紙 他

➢ 樹脂事業

各種印刷インキ用樹脂
記録材料用樹脂
セルロースナノファイバー(CNF)
粘着剤(新綜工業)

<主な用途>
オフセット・フレキソ・グラビアインキ他
LBPプリンター用トナー 他
ランニングシューズ 他
工業用両面テープ 他

➢ 化成品事業(KJケミカルズ株式会社)

各種機能性モノマー他

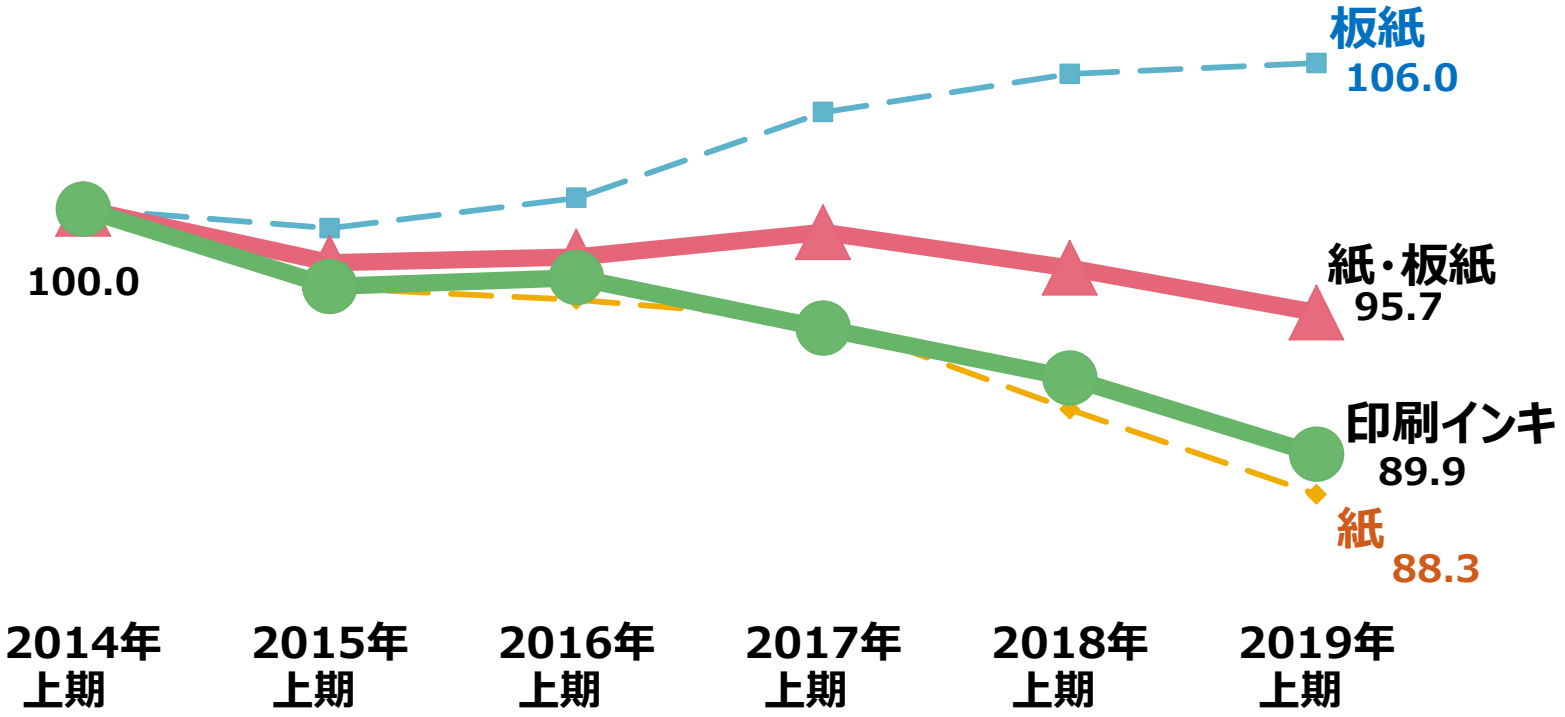
<主な用途>
UVコート剤・インキ、水系塗料、
製紙用薬品、粘・接着剤、
石油掘削用ポリマー、化粧品、電子材料 他

Ⅰ.当期の事業環境

・国内の紙・板紙の上期生産量は1,278万トン（前期比▲1.9%減少）、
　印刷インキの上期生産量は15.7万トン（前期比▲3.4%減少）。
・2014年から板紙は堅調、紙および印刷インキは減少基調が続く。

＜紙・板紙、印刷インキ国内生産量推移(上期)＞

＊2014年上期の生産量を100として、各年上期の生産量を指数化



II.2019年度 第2四半期決算（連結）概要

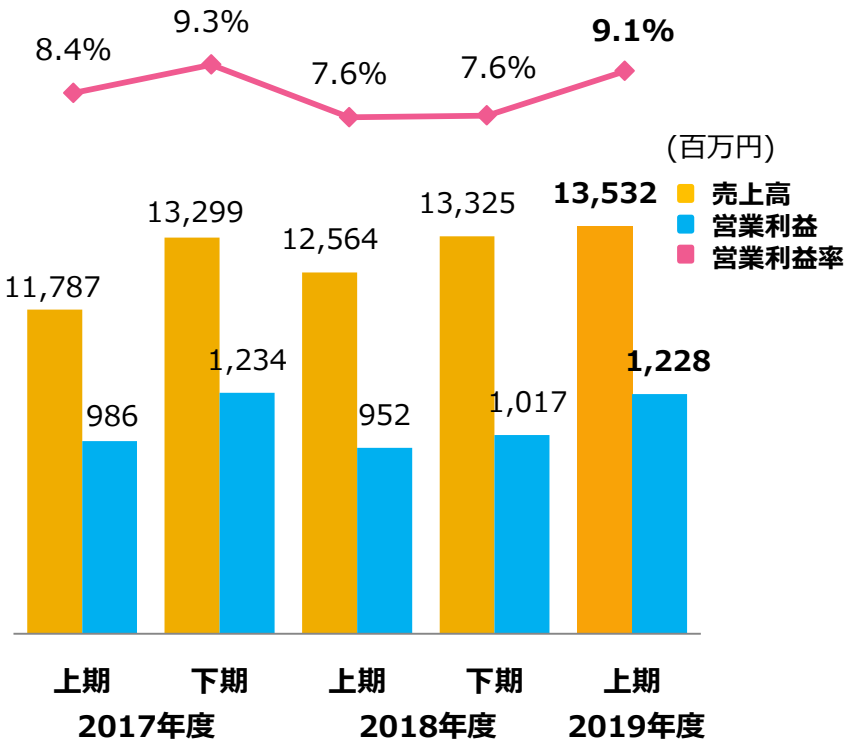
（１）決算の概況

(百万円)	2018年度（1-6月）	2019年度（1-6月）	前年同期比	
	実績	実績	増減	増減率
売上高	12,564	13,532	+968	+7.7%
営業利益	952	1,228	+276	+28.9%
営業利益率	7.6%	9.1%	-	-
経常利益	1,008	1,264	+256	+25.4%
経常利益率	8.0%	9.3%	-	-
当期純利益*	775	900	+125	+16.2%
減価償却費	476	501	+25	+5.2%
設備投資	314	726	+412	+131.2%
研究開発費（対売上高比率）	877 (7.0%)	880 (6.5%)	+3	+0.3%

*親会社株主に帰属する当期純利益

2019年上期平均 為替１ドル＝110円、ナフサ価格47,700円
(2018年上期平均 為替１ドル＝109円、ナフサ価格46,200円)

売上高：化成品事業の増販と、新綜工業の連結化により増収。
営業利益：売上増加と収益改善効果により増益。

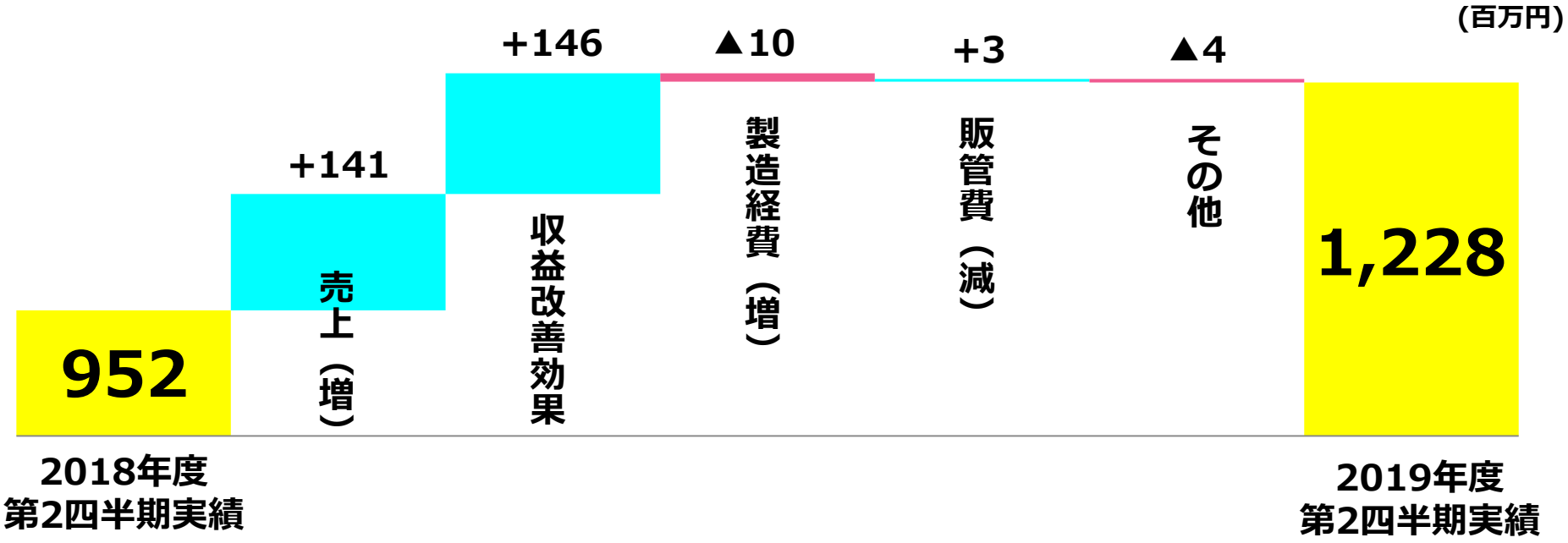


Ⅱ.2019年度 第2四半期決算（連結）営業利益増減分析

（２）営業利益増減分析（前年同期比）

前年度　9億5,200万円

→ 当期　12億2,800万円（+2億7,600万円、+28.9%）



・化成品事業の売上増及び新綜工業の連結子会社化
・売上原価の低減、販売構成の高付加価値化等による収益改善効果

II.2019年度 第2四半期決算（連結）連結貸借対照表

(百万円) 科　　目	2018年 12月末	2019年 6月末	前年比
現金・預金(*1)	1,421	2,611	+1,190
受取手形・売掛金	12,027	11,512	▲515
たな卸資産	3,706	3,775	+69
短期貸付金(*2)	2,939	2,539	▲400
その他の流動資産	253	313	+60
流動資産 合計	**20,348**	**20,753**	**+405**
有形固定資産	9,417	12,384	+2,967
無形固定資産	74	71	▲3
投資その他の資産	2,310	1,302	▲1,008
固定資産 合計	**11,801**	**13,757**	**1,956**
資産合計	**32,149**	**34,510**	**+2,361**

・実質無借金を継続
→手元資金（*1,*2）,借入金（*3,*4）
・新綜工業の連結子会社化により資産及び負債を継承し、自己資本比率は71.6%へ

(百万円) 科　　目	2018年 12月末	2019年 6月末	前年比
支払手形・買掛金	3,934	3,938	+4
短期借入金(*3)	730	801	+71
その他流動負債	2,706	2,640	▲66
流動負債 合計	**7,370**	**7,380**	**+10**
長期借入金(*4)	-	694	+694
退職給付に係る負債	555	414	▲141
その他の固定負債	111	111	±0
固定負債合計	**666**	**1,219**	**+553**
負債合計	**8,036**	**8,599**	**+563**
株主資本：			
資本金	2,000	2,000	±0
資本剰余金	1,566	1,576	+10
利益剰余金	20,999	21,658	+659
自己株式	-105	-105	±0
その他包括利益累計額：			
為替換算調整勘定	70	▲13	▲83
その他	▲418	▲395	+23
非支配株主持分	-	1,190	+1,190
純資産合計	**24,112**	**25,911**	**+1,799**
負債及び純資産合計	**32,149**	**34,510**	**+2,361**

自己資本比率	**75.0%**	**71.6%**

Ⅱ.2019年度 第2四半期決算（連結）PL／CF

損益計算書

(百万円) 科　目	2018年度 (1-6月)	2019年度 (1-6月)	前年比
売上高	12,564	13,532	+968
売上原価	9,344	9,889	+545
売上総利益	**3,220**	**3,643**	+423
販売管理費	2,267	2,414	+147
営業利益	**952**	**1,228**	+276
金融収支	9	4	▲5
為替差益	▲38	▲28	+10
その他	85	60	▲25
経常利益	**1,008**	**1,264**	+256
特別利益	0	85	+85
特別損失	1	77	+76
税金等調整前損益	**1,007**	**1,272**	+265
法人税等	232	307	+75
当期純利益	**775**	**900**	**+125**

現金等（短期貸付金含む）は依然潤沢

キャッシュ・フロー

(百万円)		2018年度 (1-6月)	2019年度 (1-6月)
営業活動によるCF	税金等調整前当期純利益	1,007	1,272
	減価償却費	476	501
	法人税等の支払額	▲225	▲267
	運転資本の増減額	▲44	433
	その他	8	20
	計	**1,222**	**1,959**
投資活動によるCF	有形固定資産の取得による支出	▲801	▲901
	無形固定資産の取得による支出	▲3	▲11
	有形・無形固定資産の売却による収入	1	0
	投資有価証券の取得による支出	▲2	246
	短期貸付金の純増減額	229	399
	その他	0	▲26
	計	**▲576**	**▲293**
財務活動によるCF	配当金の支払額	▲212	▲257
	その他	▲105	▲173
	計	**▲317**	**▲430**
現金および現金等価物に関わる換算差額		▲20	▲46
現金および現金等価物の増減額		+309	+1,190
現金および現金等価物の期首残高		1,429	1,421
現金および現金等価物の期末残高		**1,738**	**2,611**

Ⅲ.2019年度 通期業績見通し（連結）

（１）決算の概況

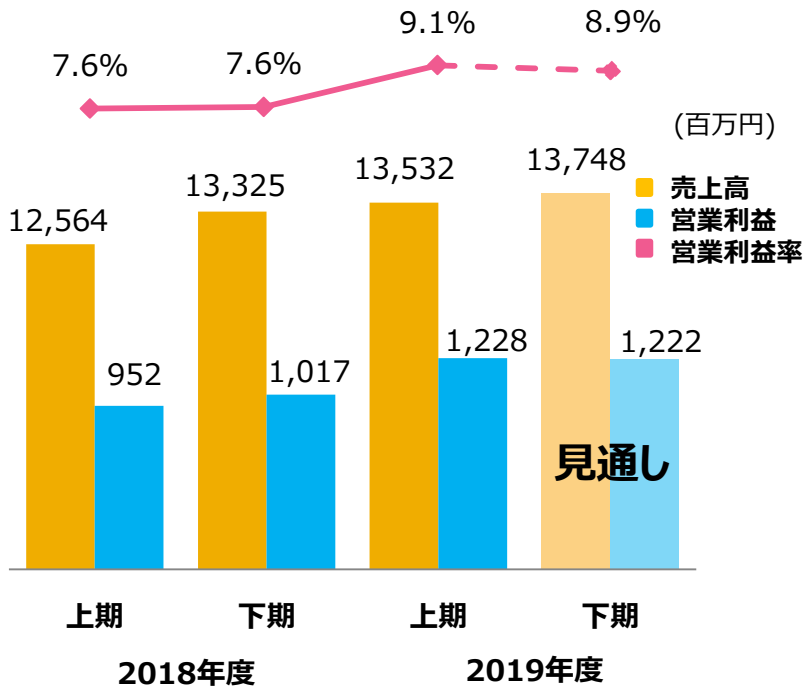
（百万円）	2018年度	2019年度			
	実績	見通し		前年度比	
		期初	最新	増減	増減率
売上高	25,889	28,400	27,280	+1,391	+5.4%
営業利益	1,969	2,320	2,450	+481	+24.4%
営業利益率	7.6%	8.2%	9.0%	-	-
経常利益	2,080	2,400	2,520	+440	+21.2%
経常利益率	8.0%	8.5%	9.2%	-	-
当期純利益*	1,561	1,700	1,810	+249	+16.0%
減価償却費	977	1,120	1,062	+85	+8.7%
設備投資	1,077	1,500	1,500	+423	+39.3%
研究開発費 （対売上高比率）	1,743 (6.7%)	1,800 (6.3%)	1,816 (6.7%)	+73	+4.2%

*親会社株主に帰属する当期純利益

下期見通しは為替1ドル=110円、ナフサ価格43,200円を前提としております。

（2019年通期見込 為替1ドル=110円、ナフサ価格45,500円）
（2018年通期実績 為替1ドル=110円、ナフサ価格48,700円）

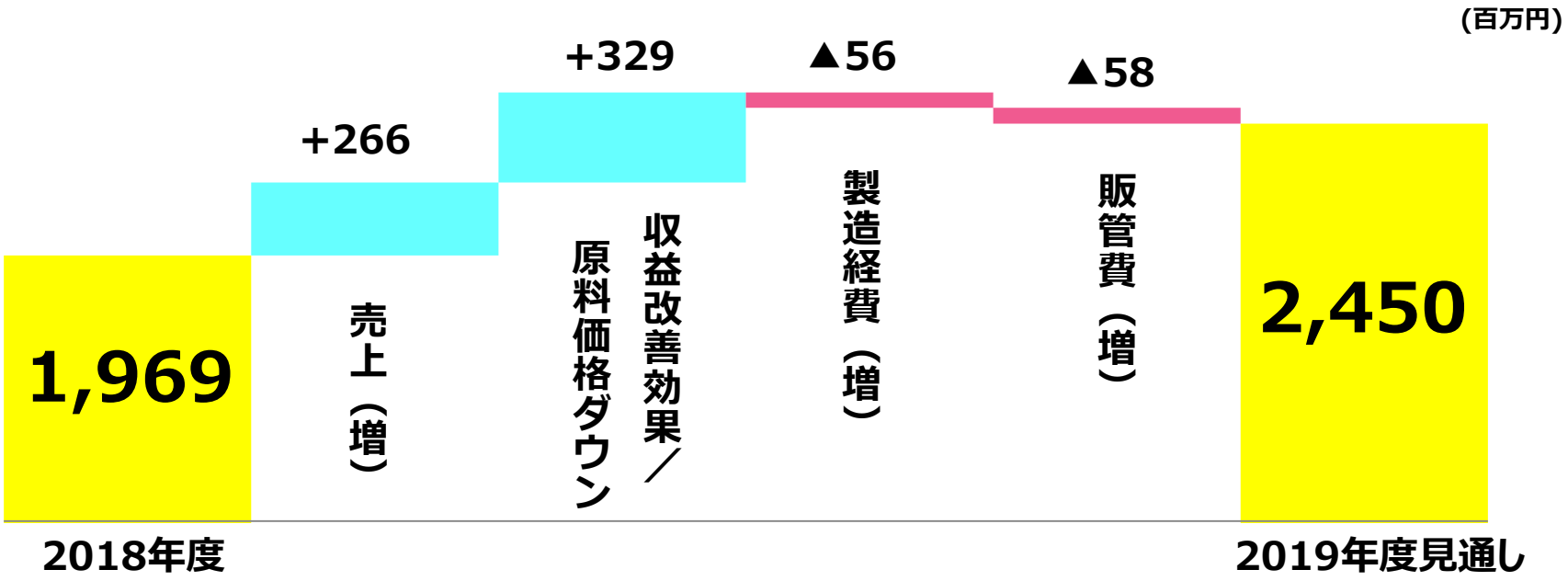
売上高：化成品事業の堅調な販売と、新綜工業の連結化により増収。
営業利益：売上増に加え、収益改善効果等により増益を見込む。



Ⅲ.2019年度 通期業績見通し（連結） 営業利益増減分析

（２）営業利益増減内訳

2018年度実績　→　2019年度見通し
19億6,900万円　→　24億5,000万円 (+4億8,100万円、+24.4%)



・化成品事業の売上増及び新綜工業の連結子会社化
・売上原価低減、販売構成の高付加価値化等による収益改善効果
・原料価格ダウン（ナフサ価格48,700→45,500円/kl）

Ⅳ.事業別動向（製紙用薬品事業）

第2四半期実績				
(百万円)	2018年（1-6月）	2019年（1-6月）	増減	増減率
売上高	8,316	8,211	▲105	▲1.3%
営業利益	777	843	+66	+8.4%

通期			
2018年度実績	2019年度見通し	増減	増減率
17,270	16,659	▲611	▲3.5%
1,606	1,761	+155	+9.6%

上期業績ハイライト

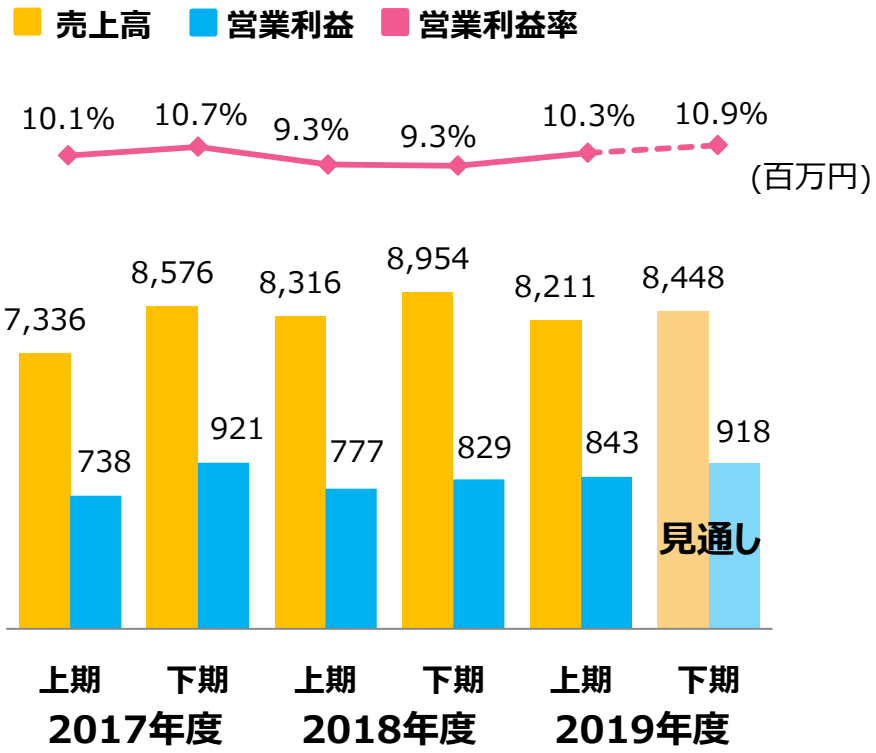
売上高：
国内は段ボール原紙向けの製品出荷が堅調に推移も
中国は景気悪化の影響により販売減少

営業利益：
原価低減効果により増加

2019年度見通し

売上高：
引き続き段ボール原紙向けを中心に拡販に努めるも、
中国の需要減を見込まざるを得ず販売減少の見通し

営業利益：
原価低減効果により増益を見込む



Ⅳ.事業別動向（樹脂事業）

第2四半期実績				
（百万円）	2018年（1-6月）	2019年（1-6月）	増減	増減率
売上高	2,579	3,383	+804	+31.1%
営業利益	122	313	+190	+157%

通期			
2018年度実績	2019年度見通し	増減	増減率
5,121	6,797	+1,676	+32.7%
243	597	+354	+146%

上期業績ハイライト

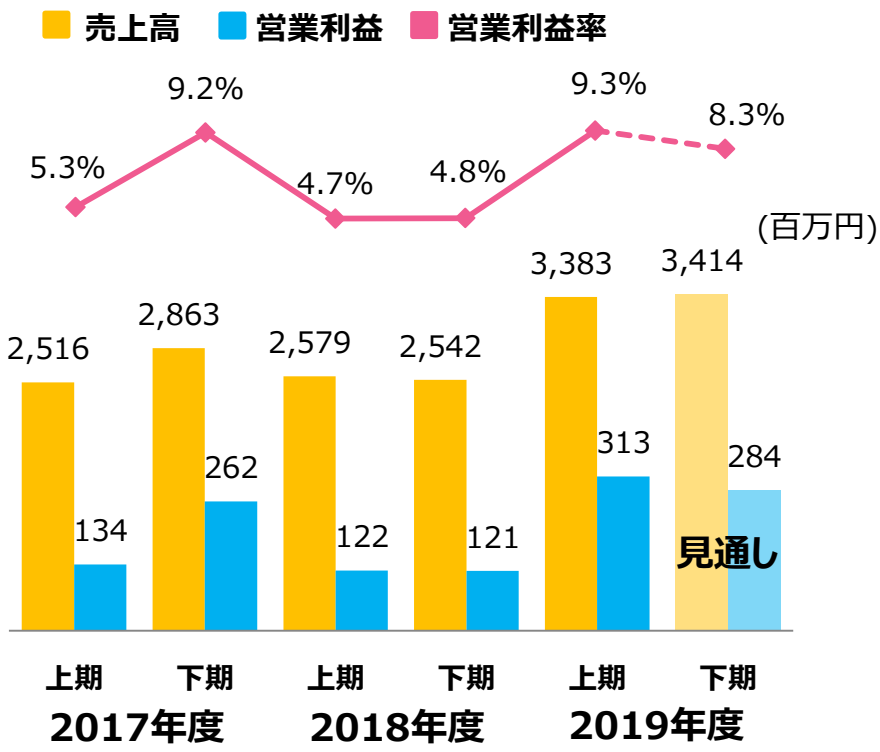
売上高：
印刷インキ、トナー用樹脂ともに需要減少の影響により減販も、新綜工業の子会社化により増収

営業利益：
販売構成の高付加価値化、新綜工業が寄与し増益

2019年度見通し

売上高：
国内既存製品は需要減少も、海外向け水性インキ用樹脂の拡販、新綜工業が寄与し増収を見込む

営業利益：
販売構成の高付加価値化、新綜工業が寄与し増益を見込む



Ⅳ.事業別動向（化成品事業）

第2四半期実績					通期			
（百万円）	2018年（1-6月）	2019年（1-6月）	増減	増減率	2018年度実績	2019年度見通し	増減	増減率
売上高	1,667	1,937	+270	+16.2%	3,497	3,824	+327	+9.4%
営業利益	210	254	+44	+21.2%	420	467	+47	+11.2%

上期業績ハイライト

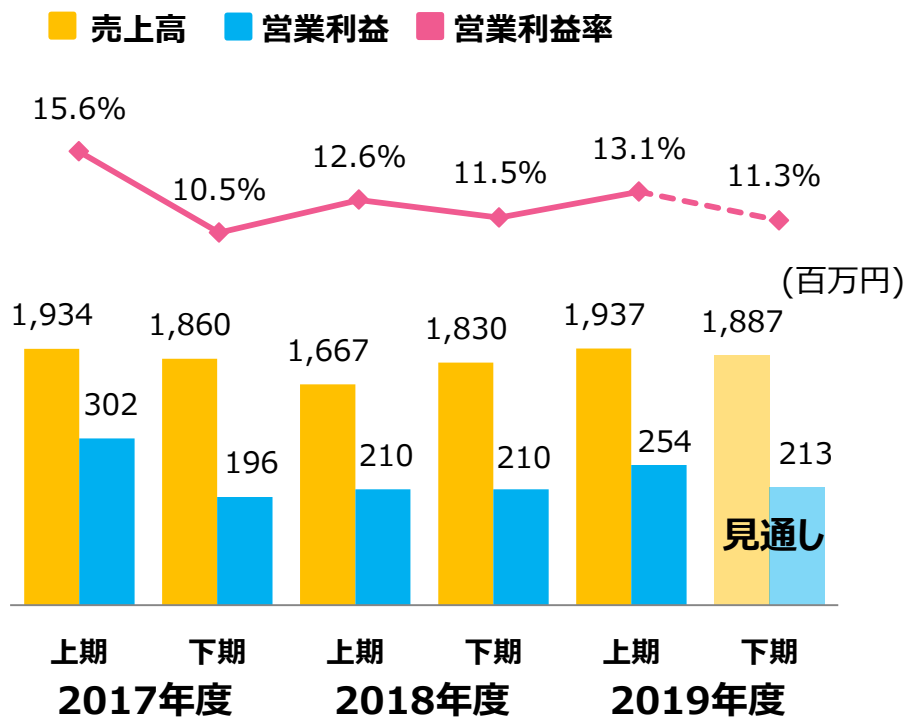
売上高：
欧州向け水系塗料向け製品が復調、新規環境対応型溶剤の販売が軌道に乗り増収

営業利益：
売上増により増益

2019年度見通し

売上高：
下期は為替の影響を受け、上期比やや減少も
通期では増収を見込む

営業利益：
売上増により、増益を見込む



V.中期経営計画「New Stage 2021」

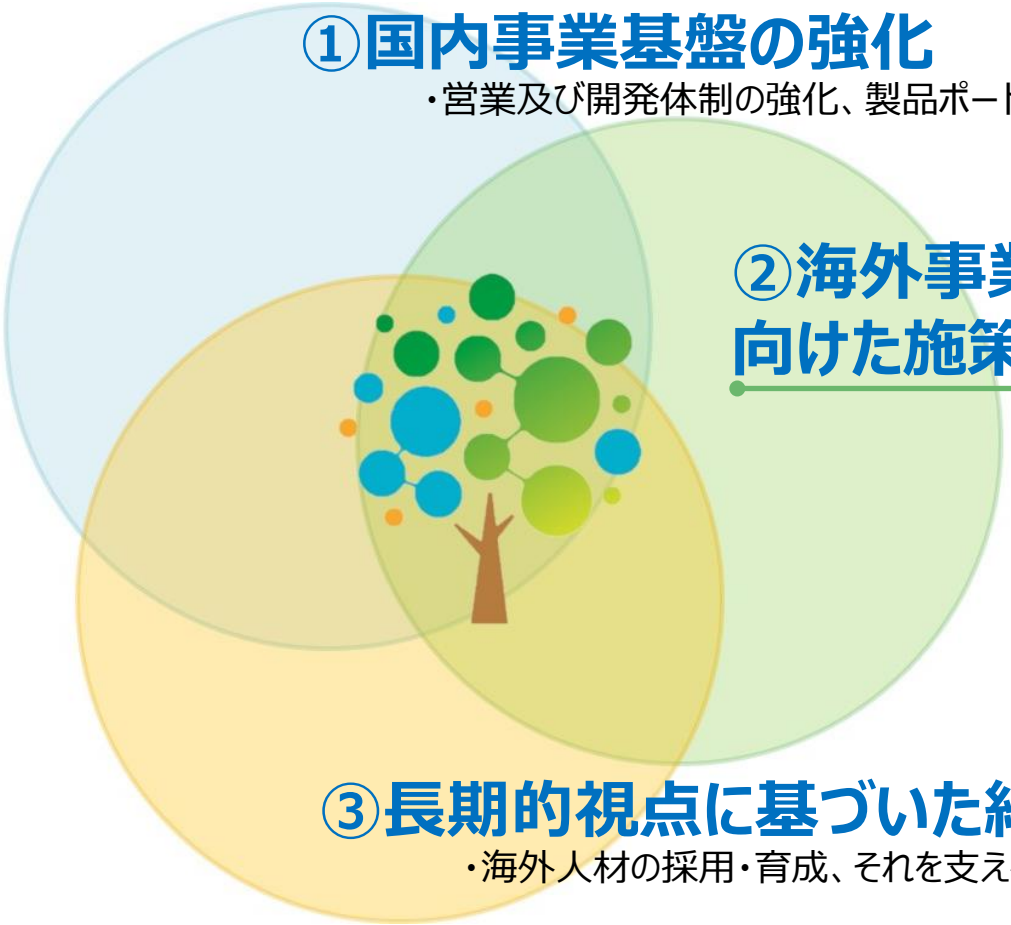
New Stage 2021（2019～2021年度）

基本方針：

これから益々必要とされる**環境技術を軸に**、国内事業基盤を堅持し、成長著しい海外に積極展開し、新事業構築を通じて**持続的社会の実現に貢献するグローバル企業**を目指します。

①国内事業基盤の強化

・営業及び開発体制の強化、製品ポートフォリオの変革



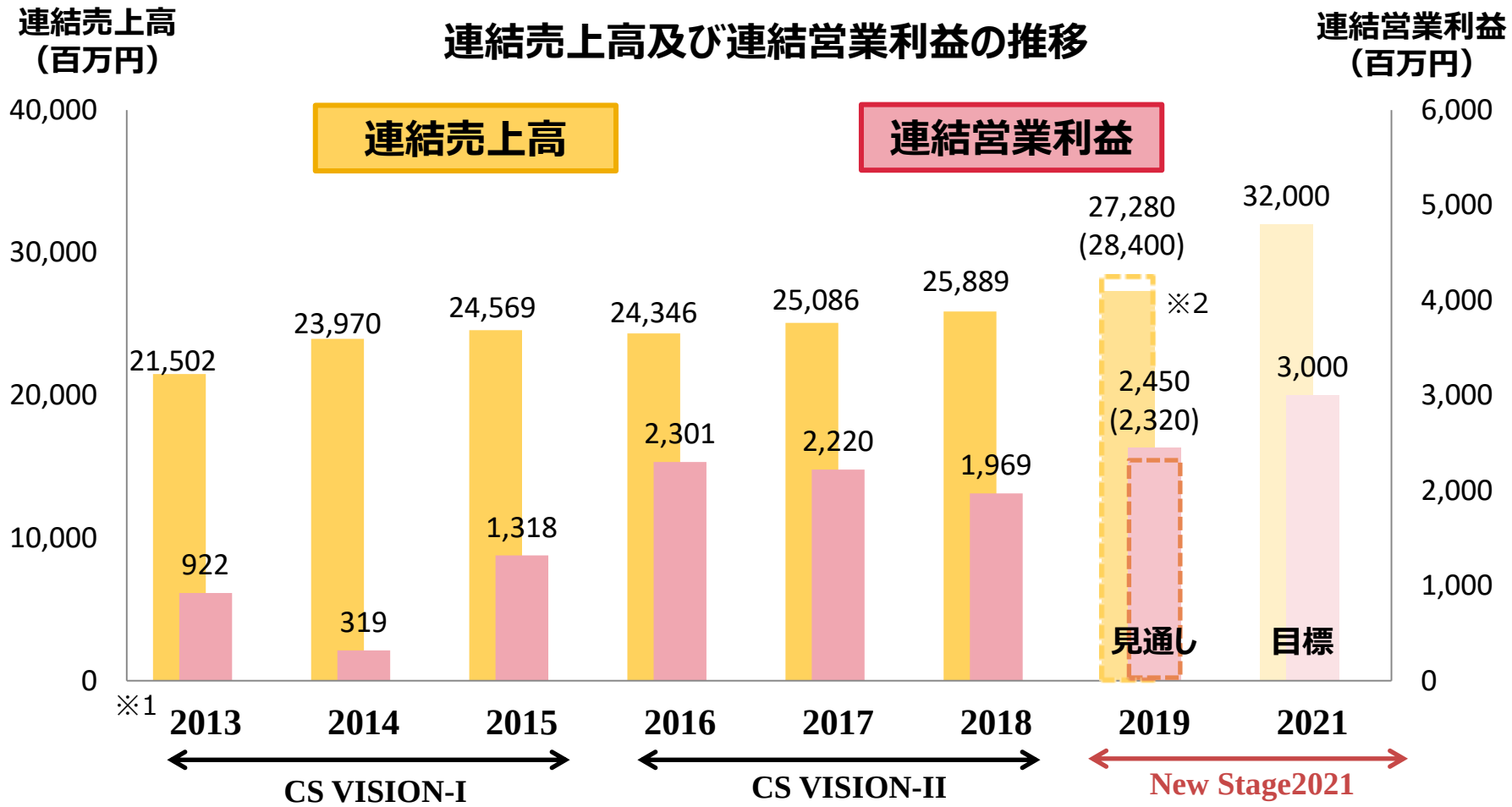
②海外事業拡大・新事業構築に向けた施策の実施

- CNF事業の推進
- 新綜工業（台湾）の粘着剤展開
- ベトナム現地法人の設立

③長期的視点に基づいた経営基盤の構築

・海外人材の採用・育成、それを支える人事・教育制度の整備

Ⅴ.「New Stage 2021」主要指標



※1　2013年度は決算期変更に伴い9か月決算であったため同一期間（1-12月）で表記
※2　括弧内数値は、期初の公表値

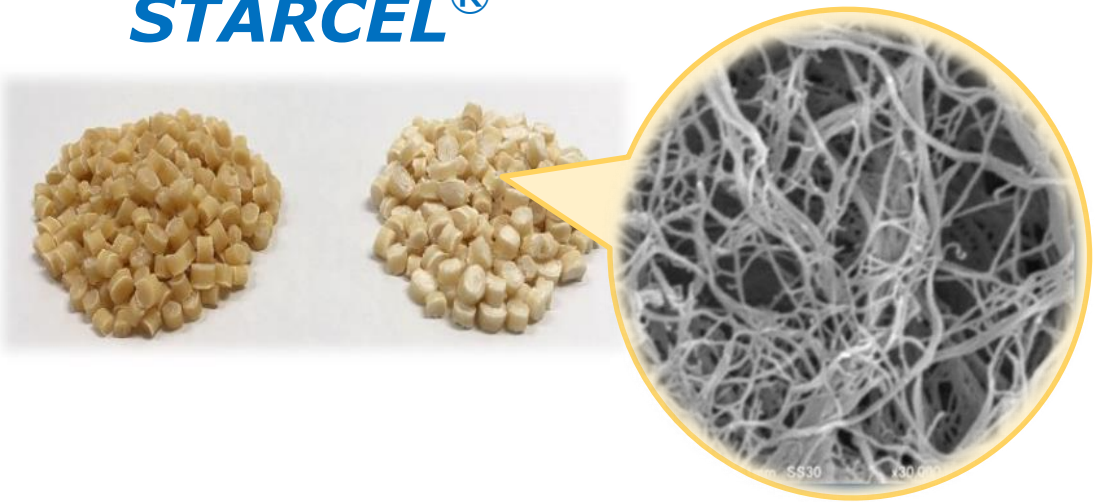
Ⅵ.セルロースナノファイバー（CNF）

セルロースナノファイバー（CNF）配合樹脂「STARCEL®」

（株）アシックスが最も革新的なスポーツシューズとする「METARIDE™」（2019年2月発売）を代表に、アシックススポーツシューズ（５モデル）のフォーム材に採用

2018年より**500万足**以上の販売実績

STARCEL®



スポーツ用品に加え、自動車や建材、電子機器から身の回りの日用品まで、幅広い用途での採用を実現し、事業拡大を目指しています。

Ⅵ.新綜工業股份有限公司

新綜工業股份有限公司
（TAPI：Total Acrylic Polymer Industry）

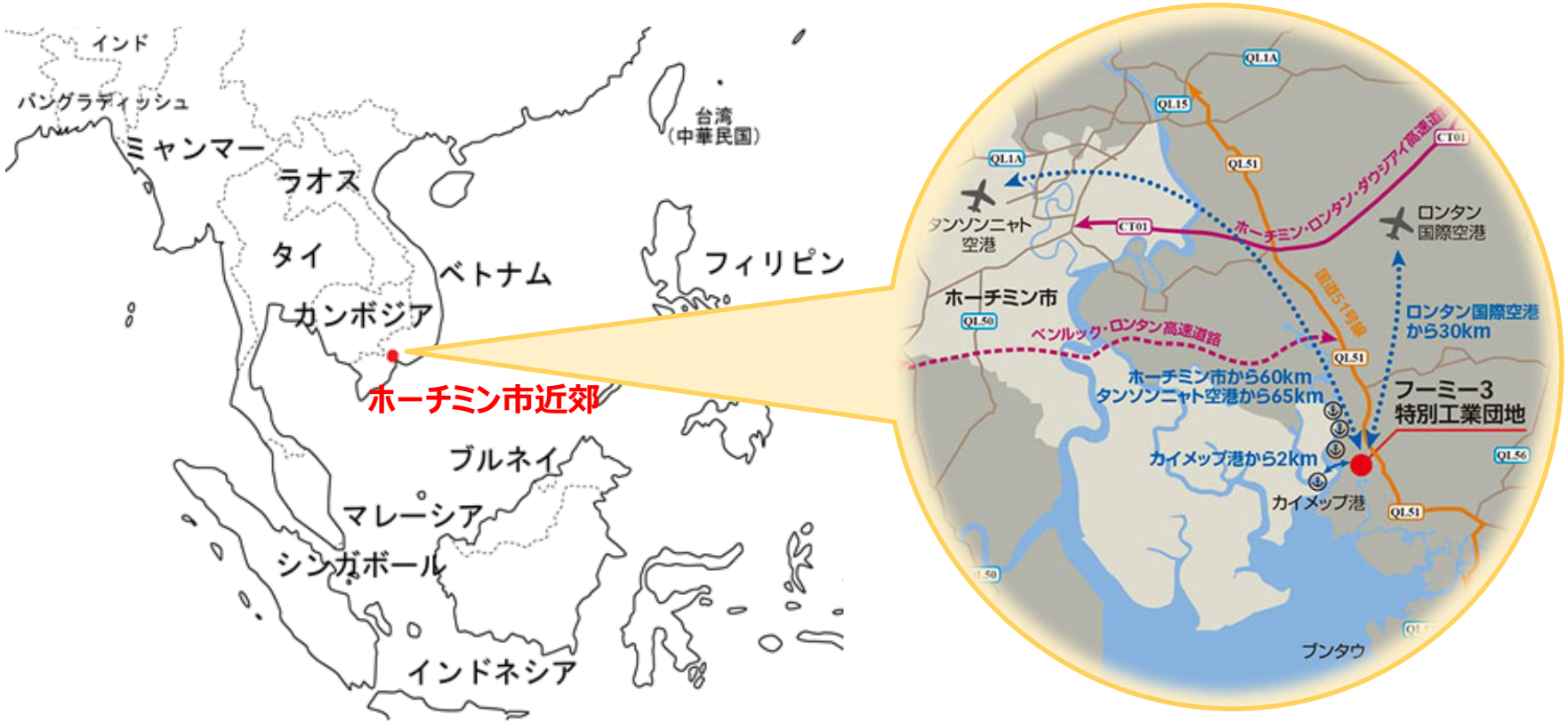
本社所在地：台湾 桃園市
設立：　1998年7月設立
資本金：　50百万NT$
（日本円で約1.8億円）
事業：　工業用粘着剤の製造・販売
株主比率：　星光PMC（株）　57.2%

粘着剤（アクリルポリマー）の高い設計開発力により、多様な粘着剤ニーズに迅速対応し、高付加価値・高品質製品を安定供給しています。中国・台湾の粘着剤市場で強固な顧客基盤を確立し、顧客にとって必要不可欠な存在となっています。

＜2019年上期ハイライト＞
米中貿易摩擦の影響を受けつつも、環境対応型粘着剤の拡販により、好調を維持。
当社樹脂事業の技術基盤との相乗効果を進め、事業の量的・質的拡大を目指す。

Ⅵ. ベトナム現地法人の設立について

ASEAN各国の経済成長に伴う、段ボール原紙を始めとする紙・板紙の旺盛な需要と今後のさらなる需要増を見据え、中期経営計画「New Stage 2021」に掲げた海外の事業展開の一環として、ベトナムに製紙用薬品を製造・販売する現地法人設立の手続きを開始。



ご清聴ありがとうございました。